



ストラクト 引違い書庫 組立説明書

この度は弊社商品をお買い求めいただきありがとうございます。組立てる前にこの説明書を必ずお読みになり、組立てを行ってください。組立て後は組立説明書は大切に保管してください。

■ 組立時・ご使用上の注意

ここに書かれた内容は、危害や損害を未然に防ぐための重要な内容です。安全にお使いいただくために、必ずお読みになり、お守りください。

- ・組立説明書にもとづいて、組立て・設置を行ってください。
- ・周りに何も無いことを確認してから、必ず二人以上で組立て作業を行ってください。
- ・組立時、使用時にはすき間に手や指を入れないでください。
- ・書庫は床面の平らな場所に水平になるように置いてください。書庫の変形やゆがみの原因となることがあります。
- ・書庫の上に立ったり、乗ったり、腰掛けたり、踏み台代わりに使ったりしないでください。書庫以外の用途での使用はおやめください。
- ・書庫を引きずらないでください。破損や、床に傷がつく原因になります。
- ・不特定多数の方が使用する公共空間や商業施設では、耐久性が極端に落ちる可能性があります。定期的な点検を実施していただき商品の安全性には十分にご配慮ください。
- ・指定された部品以外を使用しないでください。製品が破損したり、思わぬ事故の原因になります。
- ・梱包には万全を期しておりますが、万が一部品及び組立て工具に不足がございましたら、大変恐れ入りますが、メーカーまたはお買い上げの販売店にお申し付けください。

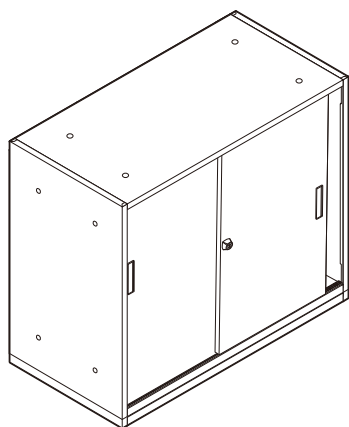
■ 定期点検時の注意

- ・天板に歪みやぐらつきがないか確認してください。
- ・1～2ヶ月ごとに、フレームのネジのゆるみがないか点検し、ゆるみがある場合は、プラスドライバーで締め直してください。

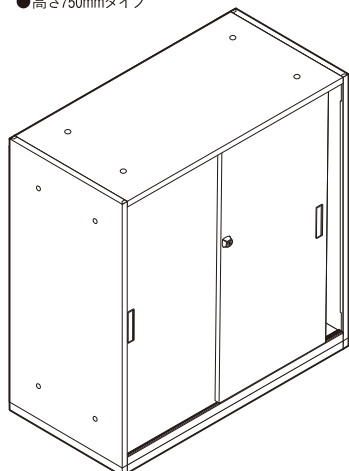
■ お手入れ方法

- ・普段のお手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・汚れがひどい場合、中性洗剤を含ませた布で拭き取った後、洗剤成分が表面に残らないよう必ず水拭きし、最後に乾いた柔らかい布で拭き十分に乾燥させてください。
- ・たわしやクレンザー等研磨剤が入った洗剤・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。

組立て完成図（ベース付きの場合）



●高さ750mmタイプ



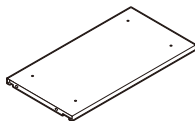
●高さ1050mmタイプ

組立用部品一覧

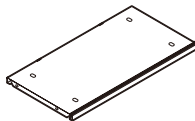


組立て前に、組立部品がすべてあるかを必ずご確認ください。
万が一、部品が不足している場合や不具合がございましたら、お手数ですが
弊社までご連絡ください。迅速に部品交換対応をさせていただきます。

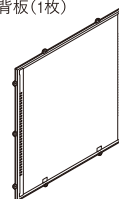
①天板(1枚)



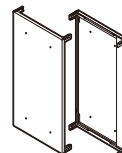
②底板(1枚)



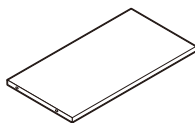
③背板(1枚)



④側板(左右)



⑤棚板
高さ750mm(1枚)
高さ1050mm(2枚)



⑥扉(2枚)



⑦ボルトM6×12mm(12本)



⑧棚フック
高さ750mm(4個)
高さ1050mm(8個)



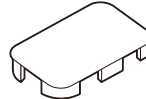
⑨横連結用ボルト(4本)



⑩横連結用ナット(4本)



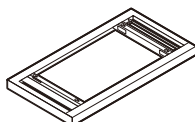
⑪底板キャップ(4個)



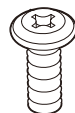
⑫横連結穴キャップ(12個)



⑬ベース(1枚) ※別売り



⑭ボルトM6×12mm(4本)
※別売りベースに付属



⑮六角レンチ
※別売りベースに付属



○お客様にご用意
いただくもの
・手袋
・プラスドライバー

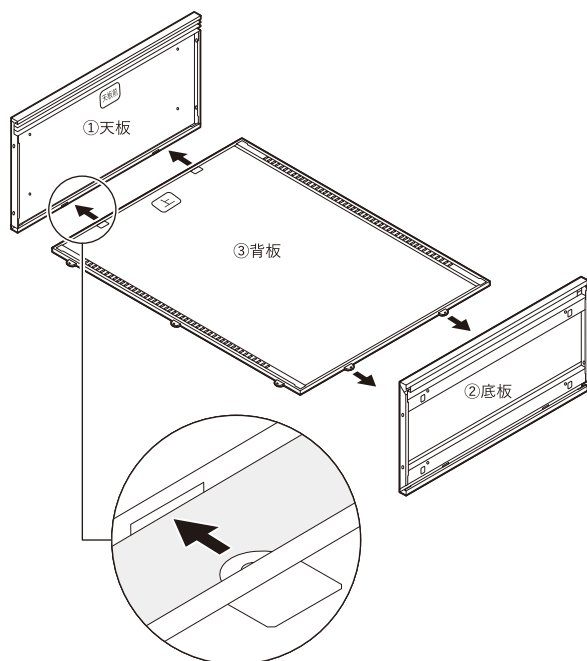
※安全のため、手袋を着用
してから2人以上で作業
を進めてください。

組立て

手順1

①天板と②底板のスリットに③背板のツメを差し込みます。

※各部材に向きを表すシールが貼られています。イラストを参考に
取り付けてください。

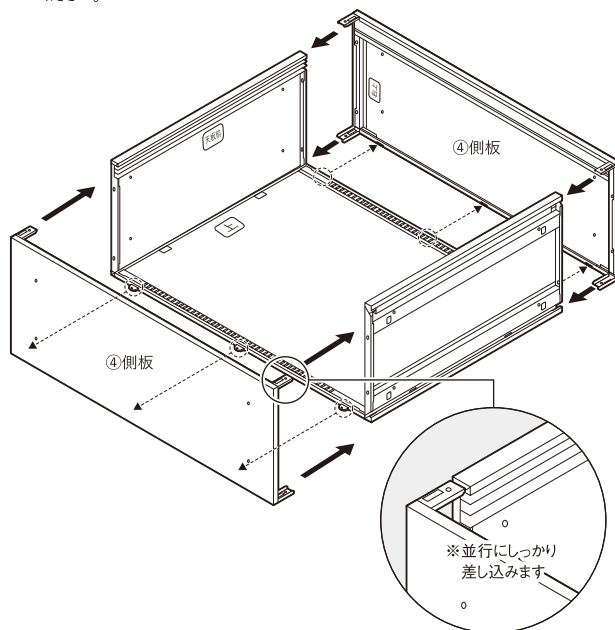


手順2

手順1で組み立てた①天板と②底板と③背板に、④側板を差し込みます。
それぞれのツメとスリットの位置を合わせながら、少しずつしっかり差し込んでく
ださい。

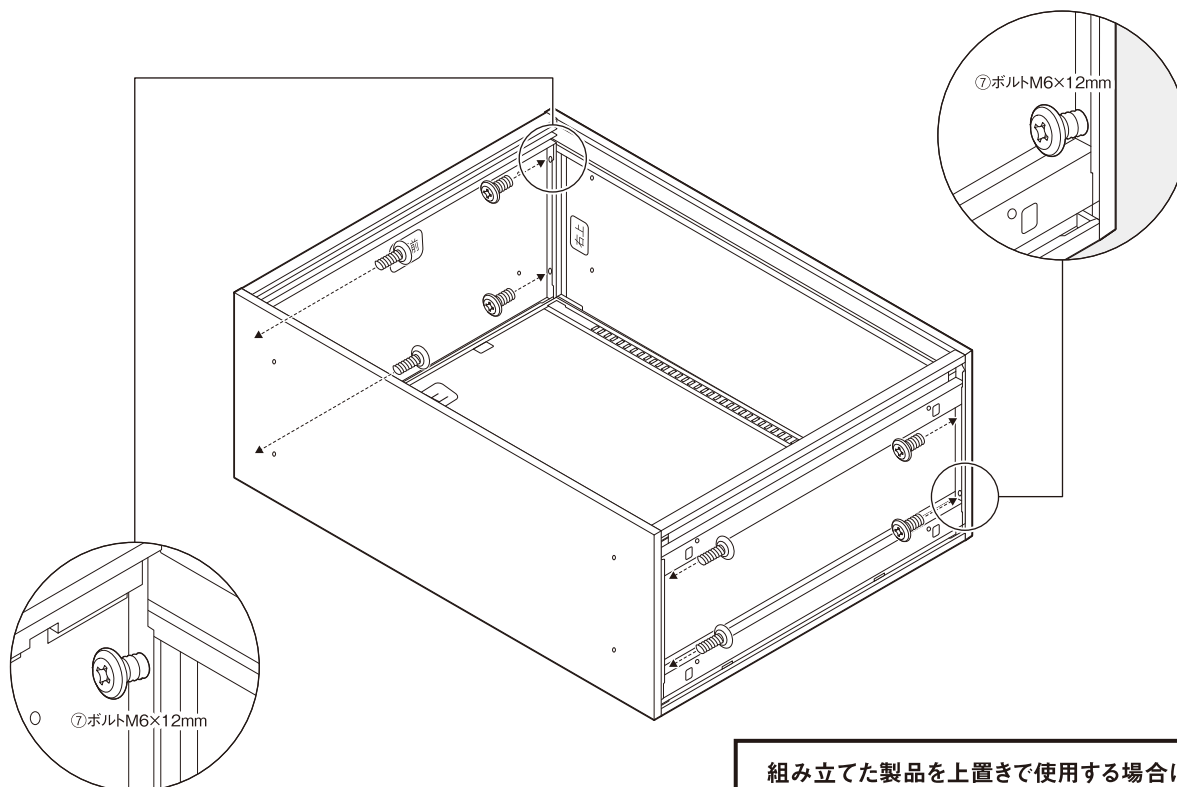
※各部材に向きを表すシールが貼られています。イラストを参考に
取り付けてください。

※③背板のツメが、④側板のスリットに差し込まれているか、ご確認
ください。



手順3

手順2で組み立てた④側板の内側から、⑦ボルトM6×12mm (8本) で固定します。

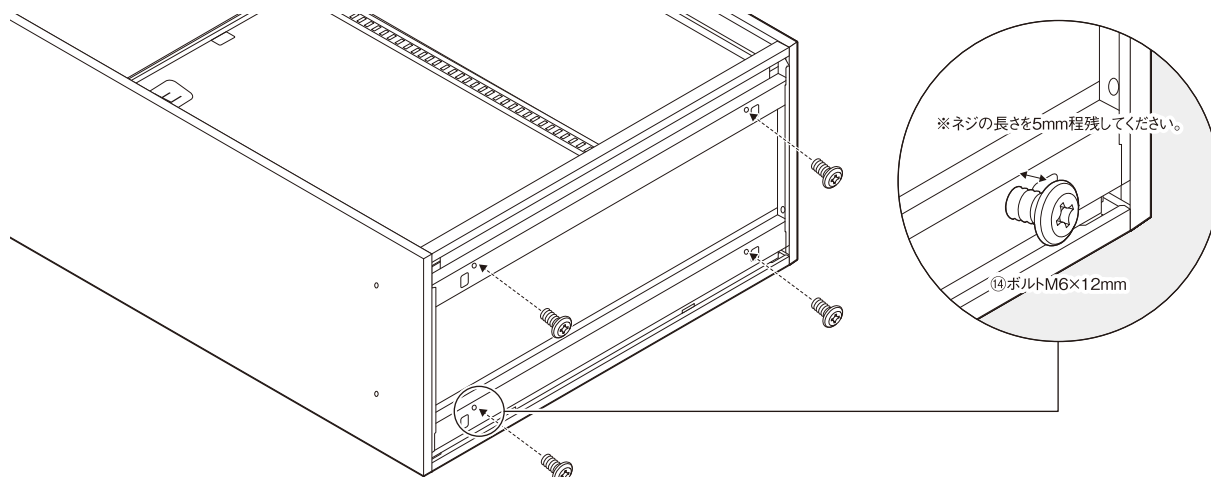


組み立てた製品を上置きで使用する場合は、
手順7に進んでください。

組立て

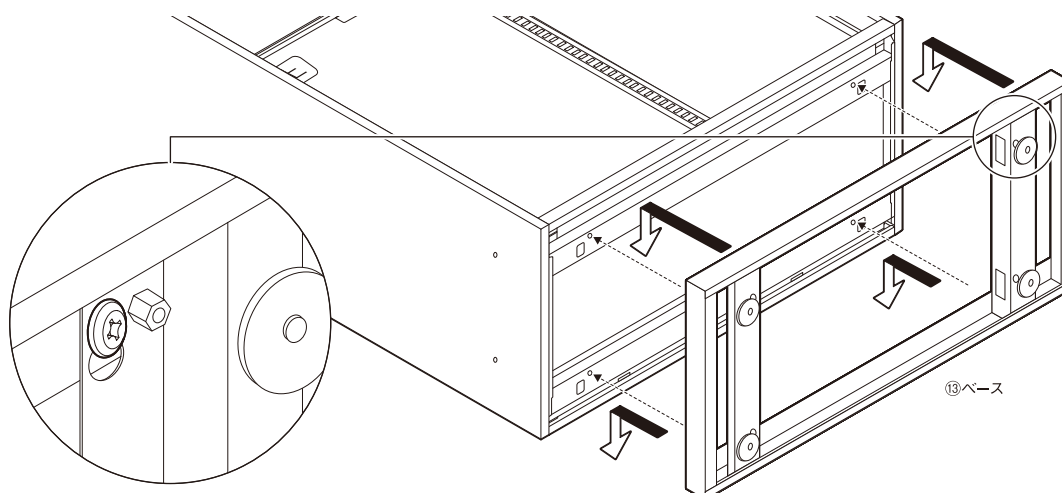
手順4

②底板に⑭ボルトM6×12mm(4本)を5mm程残すように取り付けます。



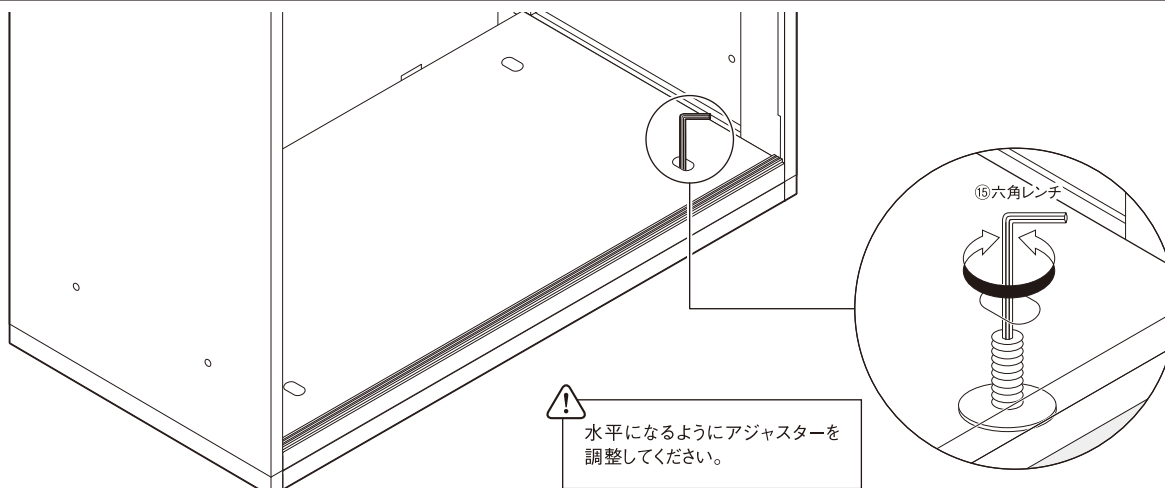
手順5

手順4で仮止めた⑭ボルトM6×12mmに、⑬ベースを引っ掛けます。引っ掛けた⑬ベースがズレや傾きがないことを確認して、⑭ボルトM6×12mmを本締めします。



手順6

書庫を使用する場所に移動させ、②底板の上部から⑬ベースのアジャスターを⑮六角レンチで回し、床面と水平になるように高さを調整します。

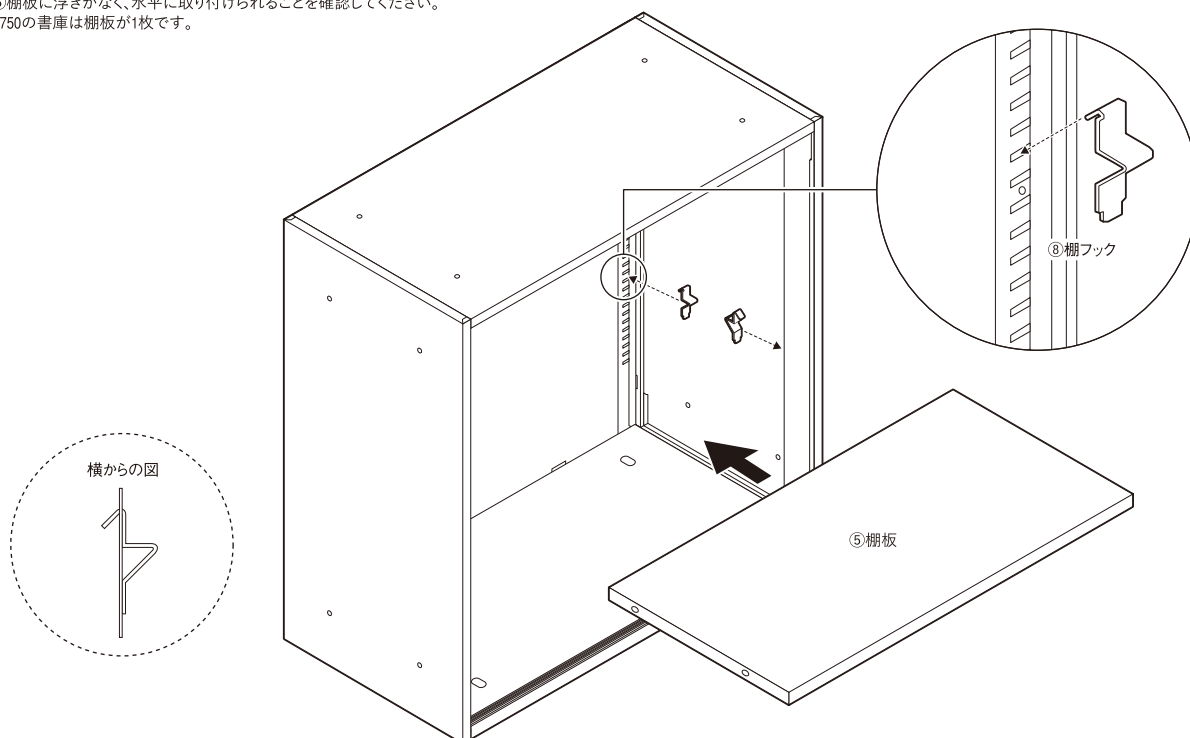


組立て

手順7

③背板と④側板の棚フック用スリットの任意の場所に、⑧棚フックを取り付け⑤棚板を載せます。

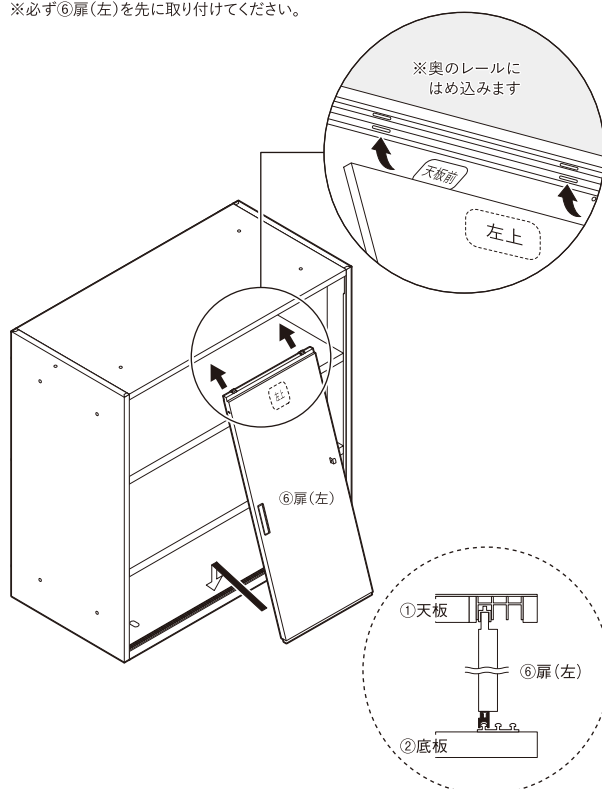
※⑤棚板に浮きがなく、水平に取り付けられることを確認してください。
※H750の書庫は棚板が1枚です。



手順8

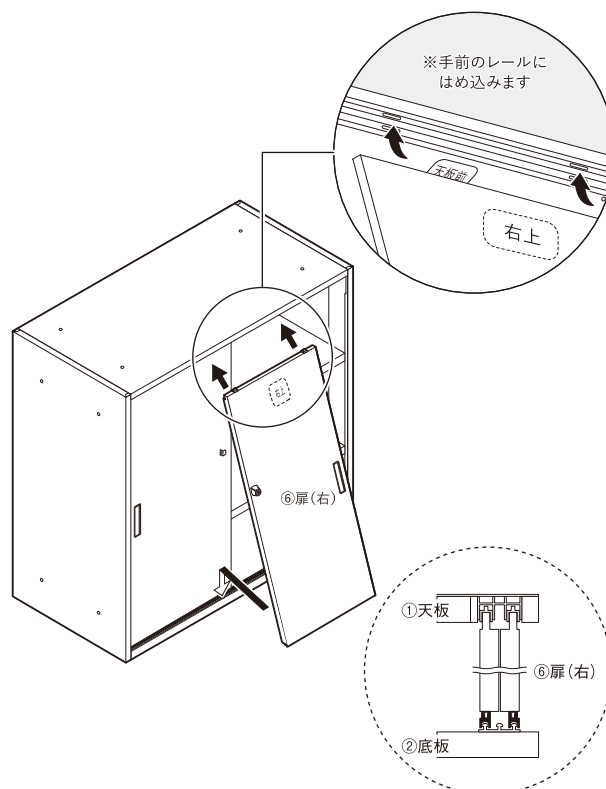
⑥扉(左)を取り付けます。⑥扉上部の突起を①天板のレールの穴に差し込み、⑥扉底部のスリットを②底板のレールに合わせて載せます。

※必ず⑥扉(左)を先に取り付けてください。



手順9

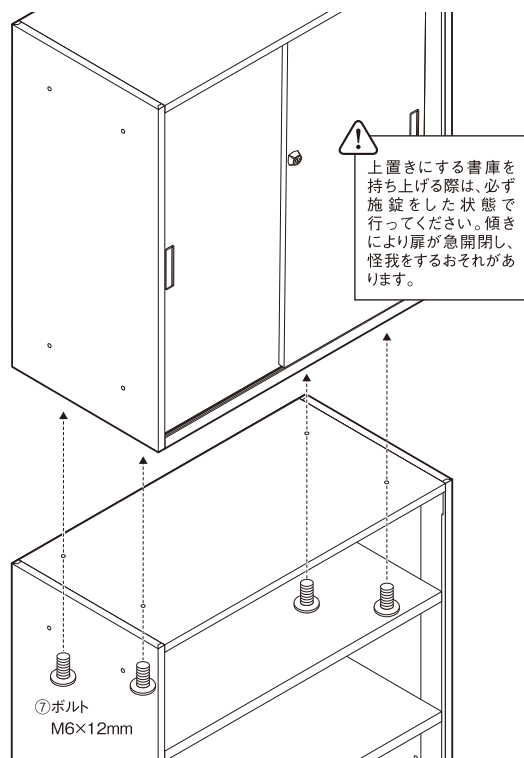
手順8と同様に⑥扉(右)をつけます。



組立て

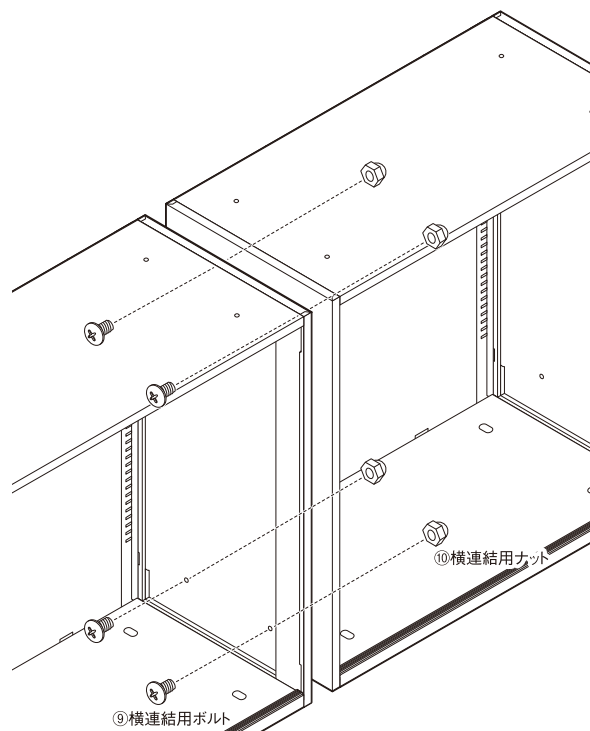
◆上下連結の場合

上置き書庫の底板の連結穴と、下置き書庫の天板の連結穴の位置を合わせ、下置き書庫内部から⑦ボルトM6×12mm(4本)で固定します。



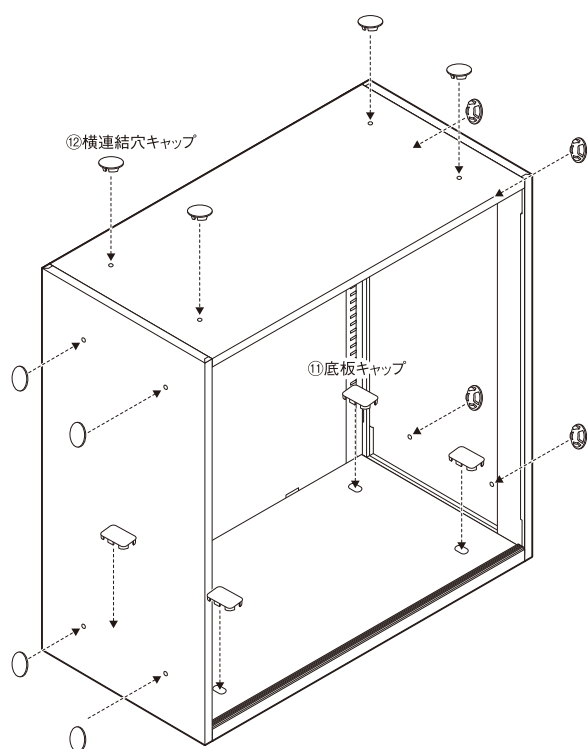
◆左右連結の場合

書庫を横並びにし、④側板の連結穴の位置を合わせて、⑨横連結用ボルト(4本)と⑩横連結用ナット(4本)で固定します。



手順10

②底板のアジャスター調整用穴を⑪底板キャップ(4個)で隠し、使用しない連結穴を⑫横連結穴キャップで隠します。



手順11

完成です。

※完成イメージ(ベース無しの場合)

